



SKYSEA Client View Windows Storage Server対応に関する ご紹介

“使いやすさ”を
“オールインワン”

目次

前提条件	P.3
Windows Storage Server対応で出来ること	P.4
特徴	P.5
ログ収集について	P.6
構成	P.7
サーバ運用への移行	P.8
ご利用時の制限事項	P.9
対応製品について	P.10-14
SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧	P.15-17
NASへのSKYSEA Client Viewのインストールについて	P.18
その他、NAS使用時の留意事項	P.19、20

前提条件

Microsoft社においては、Windows Storage Server上にソフトウェア（一部を除き）をインストールすることはライセンス許諾されておりませんでした。

しかし、株式会社アイ・オー・データ機器様、株式会社バッファロー様、ロジテック株式会社様よりマイクロソフト株式会社様への確認の結果、以下の条件付きで、SKYSEA Client Viewをインストールすることが可能であると確認されました。

（五十音別）

NAS使用許諾条件

SKYSEA Client Viewインストールの条件

クライアントPC等の情報を蓄積して活用するのみに限定して、
SKYSEA Client Viewサーバ機能を
Windows Storage Server搭載NAS製品上で動作させることが可能です。

Windows Storage Server対応で出来ること



NAS

(SKYSEA Client View Server)
SKYSEA Client ViewがインストールされたNAS

Windows Storage Server搭載NAS
製品上で動作させることが可能

SKYSEA
Client View

SKYSEA Client Viewをインストール

すぐに設置し、
ログ収集・資産管理が可能！！



ログ収集・資産管理などが可能に

特徴

こんな方に**オススメ**です

Serverは持ちたくない！

管理や運用に手間がかかるし、費用も高い。



**個人情報扱う部署だけ小規模にログ管理を
やりたい！**

管理するのは15台だけなので、あまり手間をかけずに構築・運用したい。



CALの管理が大変

サーバにアクセスするPC台数分のサーバCALは高額になるし、管理も大変・・・



ログ収集について

50台のクライアントPCのログを約**5年間**収集可能です



Windows Storage Server NASは、SKYSEA Client Viewのマスターサーバ、データサーバとして利用できます。
最大50台までのクライアントPCの管理にご利用いただけます。

※ロジテック株式会社製LSV-5S4CSシリーズのみ100台まで対応可能です。

5年間のログデータ容量: 1日1MB/PC × 50台 × 365日 × 5年間 = 約92GB

NAS装置がトラブル発生した際に、クライアントの動作に支障がある？

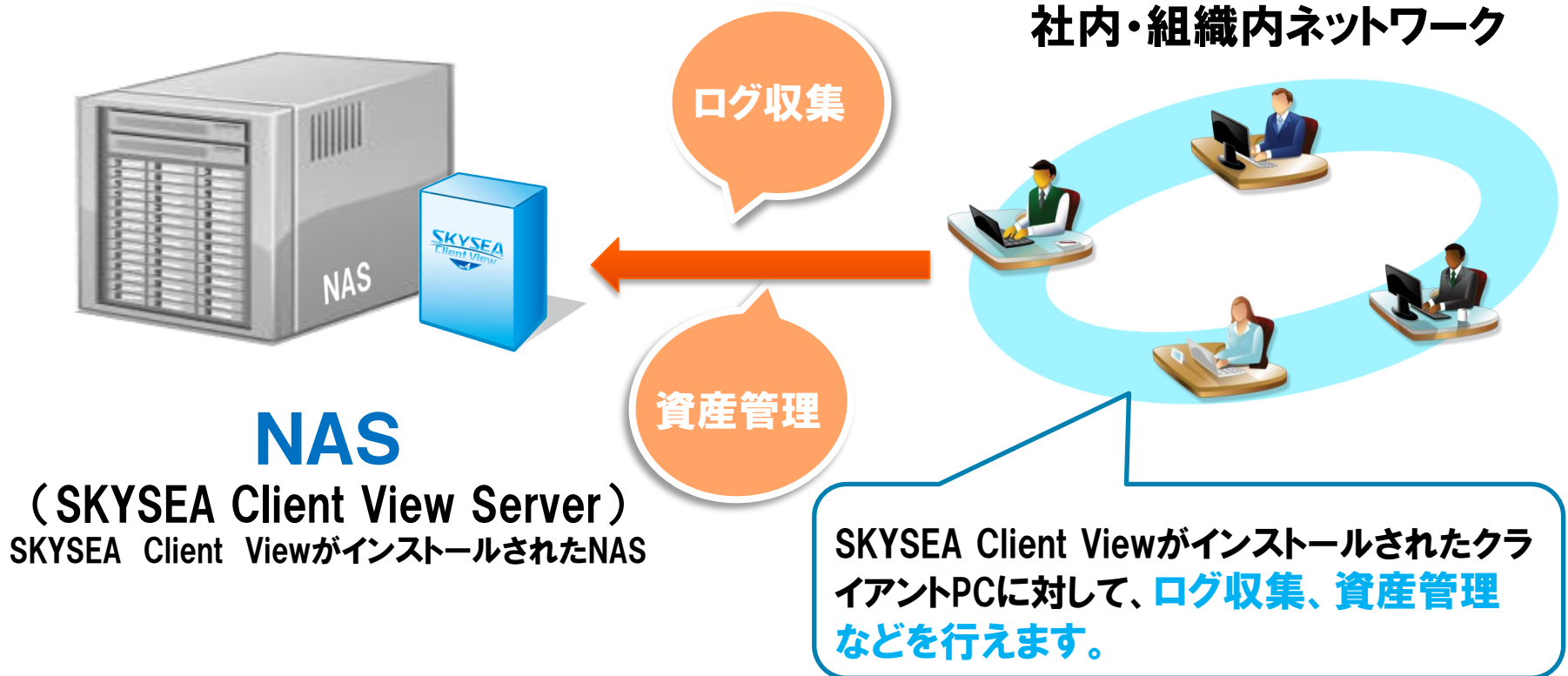
→障害発生時にも、SKYSEA Client Viewのクライアント側の機能により、ログ収集とクライアントの動作に異常は発生せず、継続可能で、業務は停止致しません。

管理できる台数は？

→NASのCPUやメモリの点から、弊社では最大クライアント台数は50台とさせて頂いております。
(NASをSKYSEA Client View専用機ではなくNASとしても利用する場合にはNASの推奨台数を上限とします)

構成

利用イメージ



サーバ運用への移行

本格的なサーバ運用への移行時も**無駄がありません**

1、最初はNASで運用

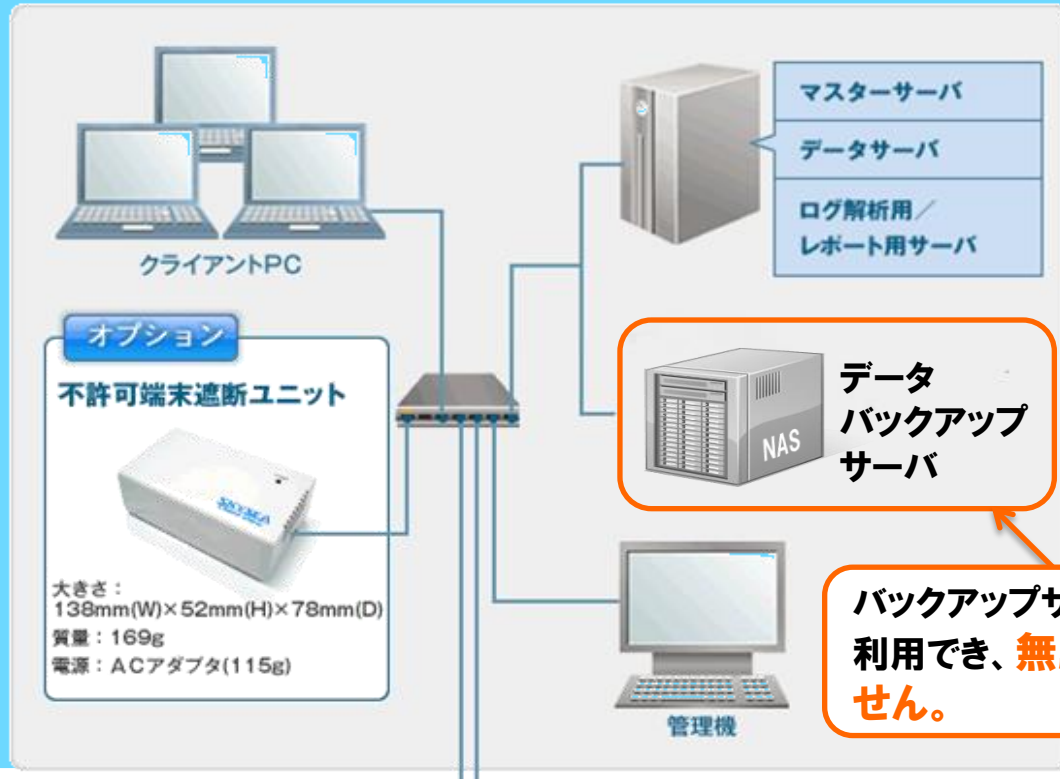


部門導入から
全社展開にも対応



2、あとから台数が増えても本格的なサーバ運用に移行できます

本格的なサーバ運用への移行時もNASはデータバックアップサーバとして運用可能です。



ご利用時の制限事項

● 最大50台までとします(NASの搭載CPUからの制限事項)

(NASをSKYSEA Client View専用機ではなくNASとしても利用する場合には、50台以下でNASの推奨台数を上限とします)

※ロジテック株式会社製LSV-5S4CSシリーズのみ100台まで対応可能です。

● Microsoft社のライセンス許諾上、ご利用頂けない機能

- ・省電力支援機能
- ・ソフトウェア配布機能
- ・Windows更新プログラム配布実行

- ・印刷物取り忘れ機能
- ・高速ログ検索(オプション)
- ・不許可端末検知(オプション)

など.....

(詳細は本資料機能一覧をご覧ください)

● 対応製品(Microsoft社より許諾を受けられたNASメーカー様)

株式会社アイ・オー・データ機器様

HDL-Z2WSシリーズ/HDL M2-GWINシリーズ/HDL-Z4WSシリーズ

株式会社バッファロー様

WS-QL/R5シリーズ

ロジテック株式会社様

LSV-5S4Cシリーズ /LSV-5S4Rシリーズ/LSV-5S4CWシリーズ/LSV-5S4CSシリーズ

(五十音別)

対応製品について

株式会社アイ・オー・データ機器様

HDLM2-GWINシリーズ / HDLM-GWINシリーズの特徴



すべてのオフィスに安心と効率を

I-O DATA



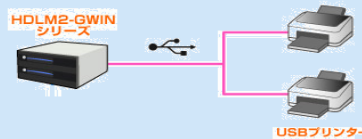
型番	HDLM2-GWIN
OS	Windows Storage Server 2003 R2
CPU	VIA Eden 1.2GHz
メモリ	1GB
推奨同時接続数	20台

ホットスワップ対応

故障したディスクドライブは、電源をいれたままで簡単に取り外して交換できます。ディスククラッシュ時にも本製品を停止することなく障害ディスクを交換できます。

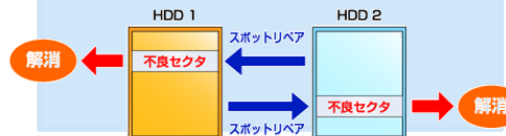
プリントサーバー機能

背面の2つのUSBポートに、USBハードディスク、USBプリンター、UPSなどを接続できます。



アクティブリペア機能

エラーセクタを発見した場合に、正常なディスクのデータを利用してエラーセクタ部分に局所的な修復を自動的に行います。



ハードウェアRAID搭載

Hardware RAID の仕組み



長所

- OSと切り離してRAID管理が可能。
- リビルドなど負荷の掛かる処理もHardware RAIDモジュールが単体で実行するため、OSやApplicationに負荷が掛からない。
- OSを問わない。

短所

- 専用のハードウェアが必要。

Hardware RAIDモジュールがHDDを結合してHALに引渡し、Device Driver / OSからは1台のHDDとして見える。

Software RAID の仕組み



長所

- OSの機能として提供されるため安価に実現可能。

短所

- OSがサポートする必要がある。
- OSの処理と同様にプロセッサ (CPU) がRAID周りの処理を行うため、どちらかに負荷が掛かることレスポンス低下を招く。
- エラーログが取得できない場合がある。

HAL、Device Driverまでは個別のHDDとして管理、RAIDモジュールで結合してOSに引渡し。

<ソフトウェアRAIDとハードウェアRAIDの比較表>

項目	Software RAID	Hardware RAID
初期コスト	低	高
CPUへの負荷	高	低
OS依存	高	低
障害解析	難	易

対応製品について

株式会社アイ・オー・データ機器様

HDL-Z4WSシリーズ / HDL-Z2WSシリーズの特徴



すべてのオフィスに安心と効率を

I-O DATA



↑ HDL-Z4WSシリーズ

↑ HDL-Z2WSシリーズ

型番	HDL-Z4WS	HDL-Z2WS
OS	Windows Storage Server 2008	
CPU	Intel Atom Processor D510 1.66GHz	
メモリ	2GB	
推奨同時接続数	50台	30台

SMB2.0対応

ファイル共有プロトコルとして「SMB2.0」に対応し、共有ファイルの転送を高速に行うことが可能。Windows Server 2008、Windows 7、Windows Vista搭載のサーバーやクライアントPCと組み合わせた場合に抜群のパフォーマンスを発揮します。

4GBファイル転送時間を比較



<測定環境>
PCからHDL-Z2WSへエクスプローラーからファイル転送時間を測定
使用ファイル:4.08GB (4,390,388,224 bytes) のファイル1個
●OS:Windows XP Service Pack 3/Windows 7 Home Premium
●PC:Dell PowerEdge SC440
●CPU:Intel Pentium Dual CPU E2180 2.0GHz
●メモリ:2.0GB

ウイルス対策ソフトがインストール可能

ウイルス対策ソフトをインストールすることによりネットワークを介して感染するウイルスからNASを自身で守ることが可能です。LAN DISKをウイルス定義パターンファイルの配信サーバーにすることで、クライアントPCのウイルス対策の負荷を減らしながらNASだけでなくネットワーク環境全体を最新のセキュリティ状態に保つことができます。



ホットスワップ対応

RAID1で運用中に故障したハードディスクは、ファイルサーバーの運用を停止することなく通電したままHDD交換が可能。専用のカートリッジ式HDD(HDLZ-OPシリーズ)を採用し、どなたでも簡単かつ安全にハードディスクの交換が可能です。

対応製品について

株式会社バッファロー様 WS-QL/R5シリーズの特徴



デジタルライフ、もっと快適に
BUFFALO

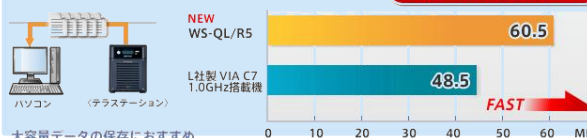


型番	WS-Q2.0TL/R5
OS	Windows Storage Server 2003 R2
CPU	インテル® EP80579 統合プロセッサ 1.2GHz
メモリ	1GB
推奨同時接続数	32台

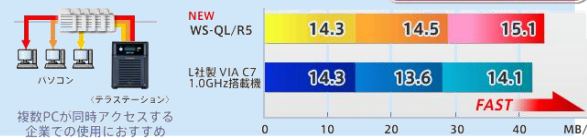
大容量データと高速転送

高速CPUと1GBの大容量メモリの採用で、ファイルサーバとしてストレスを感じさせない高速性を実現。ギガビット時代の大容量データの転送に適しています。
高速な処理スピードにより、複数PCからの同時アクセス時の転送速度も快適で、複数PCが頻繁に同時アクセスする企業での使用に最適です。

■データ転送速度の比較



■3台のPCからの同時アクセス時の転送速度比較



ユーザーの誤消去も復元できる共有フォルダーのシャドウコピー機能 (SCSF) 対応

管理者が設定したスケジュールに基づいて、本製品の共有フォルダーを自動でコピー作成できます。ユーザーが誤ってファイルを削除してしまった場合などに、履歴をさかのぼって削除したファイルをエクスプローラーやMicrosoft Office 2003の主要なアプリケーションから自分で直接復元できます。※



ホットスワップ対応

故障したディスクドライブは、電源をいれたままで簡単に取り外して交換できます。ディスククラッシュ時にも本製品を停止することなく障害ディスクを交換できます。



※共有フォルダーのシャドウコピー機能を利用するにはクライアントパソコンにWindows XP SP2以降が必要です。

対応製品について

ロジテック株式会社様

LSV-5S4Cシリーズ／LSV-5S4Rシリーズの特徴



Logitec



↑ LSV-5S4Cシリーズ

↑ LSV-5S4Rシリーズ

型番	LSV-5S4C(左) LSV-5S4R(右)
OS	Windows Storage Server 2003 R2
CPU	VIA C7 1.0GHz
メモリ	1GB
推奨同時接続数	20台

業界初

Windows Storage Server搭載NASで

暗号化機能を搭載※1

VIA社製マザーボード搭載の暗号化エンジンによる、AES256bitによるディスク暗号化を採用※2し、保存するだけで自動的に暗号化することができます。万が一内蔵HDDを盗まれてもデータを読むことはできません。



RAID5
搭載

4台のHDDによるRAID5で冗長性を確保できます。RAID0/1への変更も可能です。



NASの状況を
メールでお知らせ

不測の事態をメールでお知らせします。定期メール配信で楽に死活管理ができます。メールヘッダ、タイトルなどを編集できるので、どの場所のNASに問題が発生したのかすぐに特定できます。



エコ＆経済的な節電を実現

夜間など、NASへのアクセスが無い時間は休止モードで節電します。パワーボタンの挙動設定など、毎日/各曜日ごとに起動時間と休止時間を設定できるので、例えば1日12時間稼働にすることで約50kg/年のCO2削減ができます。



※1 SKYSEA Client View利用時には、暗号化機能は利用しないで下さい。

対応製品について

ロジテック株式会社様

LSV-5S4CWシリーズ/ LSV-5S4CSシリーズの特徴

Windows Storage Server 2008 R2

Logitec



型番	LSV-5S4CW/ LSV-5S4CS
OS	Windows Storage Server 2008 R2
CPU	VIA nano CPU 1.3+GHz (1.6GHz)
メモリ	3GB
推奨同時 接続数	25台

※ LSV-5S4CSシリーズのみ100台まで対応可能です。

Windows Storage Server 2008 R2 搭載！SMB2.1対応

最新のMicrosoft社製サーバOS、Windows (R) Server 2008 R2をベースとし、ファイルサーバとしての機能/用途に特化したOSです。最新のクライアントOSであるWindows (R) 7やWindows (R) Vistaとの通信速度を向上したSMB2.1など、データ保存に最適な環境を実現しています。

大きな特長としては、SMBのTCP/IPのオーバーヘッド削減とバッファサイズの拡大から実現されるファイル転送スピードの大幅な向上です。特にデータ書き込み時にたいへん有効な機能であり、そのことは下記のベンチマークテスト(当社実施)で得られた数値からも明らかに確認できます。



様々な運用にも対応する高信頼スペックのハードウェア

3GBの
ハイパフォーマンスメモリ

メモリ容量3GBを標準装備。
WSS2003R2搭載モデルの1GBから約3倍の設定としました

ウイルス対策やバックアップ
もアプリケーションで対応

各ソフトウェアメーカーと共同テストを繰り返し、豊富な経験とノウハウを蓄積してきました。新しいWSS2008R2搭載モデルも引き続き、各ソフトウェアメーカーと密接な連携と綿密な検証のもと、実際の運用現場で最高効率で稼働する製品開発を行います。

GigabitLANポートをダブル
で搭載

ポートを2口搭載しています。セグメント別でのアクセス管理が可能になるなど、その用途や目的により、効率的なネットワークレイアウトを構築することができます

SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧

Ver.4.2 対応時 Ver.5 対応時

Ver.4.2 対応時 Ver.5 対応時

		LT	ST	LT	ST				
資産情報 収集	収集可能な 資産項目	1 資産情報の自動収集	ハードウェア情報	○	○	○	○		
		2	ソフトウェア情報	○	○	○	○		
		3	任意項目 (50個)	○	○	○	○		
	収集方法	4	スタンドアロンPC資産情報収集	○	○	○	○		
		5	資産情報インポート	○	○	○	○		
		6	利用者へのアンケート	○	○	○	○		
ネットワーク 機器 情報収集	収集可能な 資産項目	7	機器種別、ネットワーク機器名、IPアドレス、MACアドレス、SNMPサ ポート状況、収集設定で追加した任意項目 (MIB情報)	-	-	○	○		
		8	自動判別できる機器種別: 端末 (Windows/非Windows/Linux)、 サーバ (Windows Server/Windows AD Server)、プリンタ、複合機、 HUB、不許可端末遮断ユニット	-	-	○	○		
	収集可能な 機器種別	9	手動設定できる機器種別: ネットワーク機器、端末 (Mac/Intel vPro 対応)、サーバ (非Windows Server)、ルータ、Firewall、周辺機器、 ソフトウェアインストールメディア、プロジェクト、IP電話、CDメディア、 DVDメディア、Blu-rayメディア、その他	-	-	○	○		
		10	ネットワーク機器収集、MIB情報更新設定、今すぐMIB情報更新	-	-	○	○		
資産管理	端末機 稼働状況	11	端末稼働状況一覧表示	○	○	○	○		
		12	レジストリ情報一覧表示	○	○	○	○		
		13	CSV入力インポート	○	○	○	○		
		14	CSV出力エクスポート	○	○	○	○		
		15	資産情報検索機能 (AND,OR,NOT検索)	○	○	○	○		
		16	資産情報検索グループの作成 (抽出した端末機をグループ化)	○	○	○	○		
		17	指定項目が重複する端末機表示	○	○	○	○		
		18	ネットワーク機器の死活監視設定	-	-	-	-		
		19	MIB情報更新設定	-	-	○	○		
		20	今すぐMIB情報更新	-	-	○	○		
	資産変更状況	21	変更内容一覧表示	○	○	○	○		
		22	アプリケーションインストール状況	○	○	○	○		
	資産情報 管理	アプリケーション 状況	23	アプリケーション情報のパッケージ表示 (グルーピング)	○	○	○	○	
			24	OSライセンス状況	○	○	○	○	
			25	Officeインストール状況	Microsoft Office 管理	○	○	○	○
			26		Microsoft Office Personal管理	○	○	○	○
			27	ウイルス対策ソフトウェア更新状況	○	○	○	○	
			28	Windows更新プログラム適用状況	○	○	○	○	
		29	実行ファイルインストール状況	○	○	○	○		
		30	インストールアプリケーション	○	○	○	○		
31		OfficeプロダクトID	○	○	○	○			
32		ウイルス対策ソフトウェアのパターンファイルバージョン	○	○	○	○			
33		パターンファイル更新日時	○	○	○	○			
34		検索エンジンバージョン	○	○	○	○			
35	プログラムバージョン	○	○	○	○				
部署別・ライセンス 形態別ソフトウェア 管理	36	ライセンス形態設定	-	-	○	○			
	37	購入ライセンス部署別管理・割り当て	-	-	○	○			
	38	ライセンス過不足計算機能	-	-	○	○			
	39	ソフトウェア種別フィルタリング	-	-	○	○			

		LT	ST	LT	ST				
資産管理	資産情報 運用	対応可能な ライセンス形 態	40	パッケージライセンス	-	-	○	○	
			41	パッケージライセンス (ダウングレード使用権付き)	-	-	○	○	
			42	規模ライセンス	-	-	○	○	
			43	規模ライセンス (ダウングレード使用権付き)	-	-	○	○	
		省電力支援	44	省電力設定状況表示	-	-	-	-	
	45		省電力設定を強制配布	-	-	-	-		
	46		電源切り忘れプリンタ検索	-	-	-	-		
	ソフトウェア配 布・インストール	47	ソフトウェア配布と一括インストール	-	-	-	-		
		48	ソフトウェアのインストールスケジュール設定	-	-	-	-		
		49	配布したソフトウェアのインストール状況確認	-	-	-	-		
		50	ソフトウェア配布スクリプト自動生成ツール	-	-	-	-		
	Windows更新プロ グラム配布実行	51	配布実行	-	-	-	-		
		52	配布状況の確認	-	-	-	-		
	その他	53	部署インポート機能	○	○	○	○		
		54	資産情報の自動定期バックアップ	○	○	○	○		
		55	端末機振り分け	-	-	-	-		
	U S B デ バ イ ス 登 録	登録・管理	56	USBデバイス台帳自動登録	○	○	○	○	
			57	USBデバイス台帳管理	○	○	○	○	
			58	USBデバイスの棚卸	○	○	○	○	
		使用制限 設定	59	端末機ごとによるUSBデバイス使用制限	○	○	○	○	
			60	ユーザ別USBデバイス使用制限	-	-	-	-	
			61	注意表示設定	○	○	○	○	
			62	管理者設定	-	-	-	-	
		63	USBメモリによるPC使用制限	-	-	-	-		
		ログ収集	ログ管理	収集可能な ログ	64	起動・終了ログ	○	○	○
65					クライアントPC操作ログ	○	○	○	○
66	アプリケーションログ				○	○	○	○	
67	ファイルアクセスログ				○	○	○	○	
68	ファイル操作ログ				○	○	○	○	
69	クリップボードログ				○	○	○	○	
70	システムログ				○	○	○	○	
71	プリントログ				○	○	○	○	
72	Webアクセスログ				○	○	○	○	
73	Web書き込みログ (掲示板・Webメールへの書き込み)				○	○	○	○	
74	Webファイルアップロードロ グ			○	○	○	○		
75	FTPアップロードログ			○	○	○	○		
76	ドライブ追加・削除ログ			○	○	○	○		
77	フォルダ共有ログ			○	○	○	○		
78	不許可端末ログ			-	-	-	-		
ログ閲覧 (ビューア)	79	ログ検索 (複数条件検索)	○	○	○	○			
	80	ログ検索条件保存	○	○	○	○			
	81	ファイル追跡	○	○	○	○			
	82	操作ログ追跡	○	○	○	○			
	83	ログのCSV出力	○	○	○	○			

SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧

Ver.4.2
対応時

Ver.5
対応時

Ver.4.2
対応時

Ver.5
対応時

		LT	ST	LT	ST				
ログデータ保存	84	ログデータのバックアップ	○	○	○	○			
	85	バックアップデータ閲覧	○	○	○	○			
	86	ログデータの自動定期バックアップ	○	○	○	○			
	87	削除された端末機のログを閲覧	○	○	○	○			
	録画方法	88	スケジュール録画：設定した時に録画	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)		
		89	検知録画：設定した操作をトリガーに録画を開始	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)		
		90	ワンタッチ録画：メイン画面のデスクトップビューから録画を開始	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)		
画面操作録画	検知対象	91	ウインドウタイトル、アプリケーション実行、禁止アプリケーションの名前変更、業務外アプリケーション実行、レジストリ変更、インストール、システム構成変更、CSVファイル出力、規定時間外端末機操作、記憶媒体使用、記憶媒体使用(棚卸期間超過)、BitLocker To Goで保護されていない記憶媒体使用、記憶媒体書き込み、特定フォルダアクセスドライブ追加、共有フォルダ書き込み、ローカル共有フォルダ作成、カスタマイズ、Web閲覧、禁止ファイル持ち込み、実行ファイル不正操作、印刷ドキュメント名、FTPダウンロード、Webアップロード、Webアップロード、FTPアップロード、掲示板/Webメール書き込み、電子メール送信、電子メール送信宛先フィルタ	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)		
		92	順再生/逆再生	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)		
再生・保存	93	等速、2倍速、4倍速	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)			
	94	録画面像の切り出し/静止画保存	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)			
	95	録画データとログデータの個別保存、保存期間を別々に設定	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)			
	検索	96	テキストログとの連動	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)		
		97	送信メール保存	※S(※1)	○(※1)	※S(※1)	○(※1)		
送信メールログ	送信メールログ	98	添付ファイル保存	※S(※1)	○(※1)	※S(※1)	○(※1)		
		99	管理機の画面にメッセージを表示(ポップアップ通知)	※S(※1)	○(※1)	※S(※1)	○(※1)		
	注意表示	##	管理者へのメール通知	※S(※1)	○(※1)	※S(※1)	○(※1)		
		##	許可ドメイン以外への送信を検知	※S(※1)	○(※1)	※S(※1)	○(※1)		
##	メール件名/送信者アドレス/受信者アドレス/添付ファイル有無	※S(※1)	○(※1)	※S(※1)	○(※1)				
##	メールサイズにより添付ファイルの保存、破棄を選択	※S(※1)	○(※1)	※S(※1)	○(※1)				
高速ログ検索	##	ログのIndex化で検索を高速化	-	-	-	-			
注意表示通知	通知方法	##	端末機の画面にメッセージを表示(ポップアップ通知)	○	○	○	○		
		##	管理機の画面にメッセージを表示(ポップアップ通知)	○	○	○	○		
		##	注意表示ログ出力	○	○	○	○		
		##	メールによる通知	○	○	○	○		
		##	一定時間内のアラート/メールの集約	○	○	○	○		
	設定	##	キーワードごとにアラート通知のON/OFFを設定	○	○	○	○		
		##	端末機/ユーザごとの個別設定、グループごとの設定	△※2	△※2	△※2	△※2		
		##	設定内容の一覧表示	○	○	○	○		
		端末アラート(注意表示)設定項目	資産管理	##	ネットワーク機器の死活監視	-	-	-	-
				##	資産情報の変更	○	○	○	○
##	HDD容量不足(MB)(%)			○	○	○	○		
##	リース/レンタル切れ日数			○	○	○	○		
##	許可/不許可アプリケーション			○	○	○	○		
##	インストール診断(インストール必須アプリケーション)		○	○	○	○			
##	端末機未起動期間設定		○	○	○	○			
アプリケーション	##		ウインドウタイトル	○	○	○	○		
	##		アプリケーション実行	○	○	○	○		
	##		禁止アプリケーションの名前変更	○	○	○	○		
	##	業務外アプリケーション実行	○	○	○	○			
	##	レジストリ変更	○	○	○	○			
##	インストール	○	○	○	○				
##	システム構成変更	○	○	○	○				

		LT	ST	LT	ST		
ファイル操作	127	CSVファイル出力	○	○	○	○	
	128	規定時間外端末機操作	○	○	○	○	
	129	記憶媒体使用(除外キーワード設定可)	○	○	○	○	
	130	記憶媒体書き込み(除外キーワード設定可)	○	○	○	○	
	131	記憶媒体使用(棚卸期間超過)	○	○	○	○	
	132	BitLocker to Goで保護されていない記憶媒体使用	○	○	○	○	
	133	特定フォルダアクセス	○	○	○	○	
	134	ドライブ追加	○	○	○	○	
	135	共有フォルダ書き込み	○	○	○	○	
	136	ローカル共有フォルダ作成	○	○	○	○	
	137	ローカル共有フォルダアクセス	○	○	○	○	
	138	カスタマイズ	○	○	○	○	
	139	禁止ファイル持ち込み	○	○	○	○	
	140	実行ファイルの不正操作	○	○	○	○	
	141	USBデバイスによる不正ファイル持ち込み	○	○	○	○	
	その他	142	Web閲覧	○	○	○	○
		143	Webアップロード/ダウンロード	○	○	○	○
144		FTPアップロード/ダウンロード	○	○	○	○	
145		掲示板/Webメール書き込み	○	○	○	○	
146		印刷枚数(1回あたり)	○	○	○	○	
147		印刷ドキュメント名	○	○	○	○	
148		印刷物取り忘れ	-	-	-	-	
149		USBメモリによるPC使用制限	-	-	-	-	
150		残業お知らせメッセージ	-	-	○	○	
151		ユーザアラートを優先する	-	-	- (※3)	- (※3)	
152		電子メール送信	※S(※1)	○(※1)	※S(※1)	○(※1)	
153		電子メール送信宛先フィルタ	-	-	- (※3)	- (※3)	
154		不許可端末検知	-	-	-	-	
アプリケーション		155	ウインドウタイトル	-	-	- (※3)	- (※3)
		156	アプリケーション実行	-	-	- (※3)	- (※3)
		157	禁止アプリケーションの名前変更	-	-	- (※3)	- (※3)
		158	業務外アプリケーション実行	-	-	- (※3)	- (※3)
	159	レジストリ変更	-	-	- (※3)	- (※3)	
	160	インストール	-	-	- (※3)	- (※3)	
	161	システム構成変更	-	-	- (※3)	- (※3)	
	162	CSVファイル出力	-	-	- (※3)	- (※3)	
	163	規定時間外端末機操作	-	-	- (※3)	- (※3)	
	164	記憶媒体使用	-	-	- (※3)	- (※3)	
	165	記憶媒体使用(棚卸期間超過)	-	-	- (※3)	- (※3)	
	166	記憶媒体書き込み	-	-	- (※3)	- (※3)	
	167	特定フォルダアクセス	-	-	- (※3)	- (※3)	
	168	共有フォルダ書き込み	-	-	- (※3)	- (※3)	
	169	カスタマイズ	-	-	- (※3)	- (※3)	
	170	禁止ファイル持ち込み	-	-	- (※3)	- (※3)	
	171	実行ファイルの不正操作	-	-	- (※3)	- (※3)	
172	USBデバイスによる不正ファイル持ち込み	-	-	- (※3)	- (※3)		
ユーザアラート(注意表示)設定項目	ファイル操作	173	Web閲覧	-	-	- (※3)	- (※3)
		174	Webアップロード/ダウンロード	-	-	- (※3)	- (※3)
		175	FTPアップロード/ダウンロード	-	-	- (※3)	- (※3)
		176	掲示板/Webメール書き込み	-	-	- (※3)	- (※3)
		177	USBメモリによるコンピュータ使用制限	-	-	- (※3)	- (※3)
その他	173	Web閲覧	-	-	- (※3)	- (※3)	
	174	Webアップロード/ダウンロード	-	-	- (※3)	- (※3)	
	175	FTPアップロード/ダウンロード	-	-	- (※3)	- (※3)	
	176	掲示板/Webメール書き込み	-	-	- (※3)	- (※3)	
	177	USBメモリによるコンピュータ使用制限	-	-	- (※3)	- (※3)	

SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧

Ver.4.2
対応時

Ver.5
対応時

Ver.4.2
対応時

Ver.5
対応時

		Ver.4.2		Ver.5				
		LT	ST	LT	ST			
セキュリティ管理	不許可端末検知/遮断	不許可端末ログ	178	IPアドレス/MACアドレス	-	-	-	-
			179	許可設定状況	-	-	-	-
		注意表示	180	不許可端末を一覧表示	-	-	-	-
			181	管理機の画面にメッセージを表示(ポップアップ通知)	-	-	-	-
			182	管理者へのメール通知	-	-	-	-
	遮断	183	検知した不許可端末をネットワークから遮断	-	-	-	-	
		184	不許可端末遮断ユニット	-	-	-	-	
	レポート	ログ解析レポート	185	webブラウザによるログ解析レポート	△※1	△※1	△※1	△※1
			186	・ユーザ作業状況(ユーザ別/部署別作業時間解析)	-	-	△※1	△※1
			187	・端末稼働状況	△※1	△※1	△※1	△※1
188			・アプリケーション解析(端末別/日別アプリケーション使用比較グラフ)	△※1	△※1	△※1	△※1	
189			・Webアクセス解析(時間帯別Webアクセス推移、端末別Webアクセス比較)	△※1	△※1	△※1	△※1	
190			・Webアクセス解析(Web別利用時間推移)	-	-	△※1	△※1	
191			・ファイルサーバアクセス解析	△※1	△※1	△※1	△※1	
192			・プリント出力解析(ドキュメント別/端末別プリント出力比較、プリンタ別比較)	△※1	△※1	△※1	△※1	
193			・セキュリティ(端末別アラート比較、日別アラート件数推移)	△※1	△※1	△※1	△※1	
194			端末利用状況レポート	-	-	-	-	
ワンタッチレポート		195	ライセンス利用状況レポート	-	-	-	-	
		196	不許可アプリケーションインストール状況レポート	-	-	-	-	
		197	必須アプリケーション未インストール状況レポート	-	-	-	-	
		198	Web利用状況	-	-	-	-	
		199	ユーザ作業状況	-	-	- (※3)	- (※3)	
安心安全レポート		200	傾向分析レポート	-	-	-	-	
		201	注意表示レポート	-	-	-	-	
コスト削減		サーバシミュレーション	202	サーバシミュレーション	-	-	-	-
			203	コンピュータ利用状況レポート	-	-	-	-
	利用状況レポート	204	ファイルサーバ利用状況レポート	-	-	-	-	
		205	プリンタ利用状況レポート	-	-	-	-	
メンテナンス	リモート操作	206	端末機をリモート操作	※R	○	※R	○	
		207	管理機画面を端末機で表示	※R	○	※R	○	
		208	端末機画面を管理機で表示	※R	○	※R	○	
		209	リモート操作中のファイル転送	※R	○	※R	○	
		210	ブルースクリーン状態のリモート操作	-	-	※R	○	
		211	リモート操作中のBIOS設定	-	-	※R	○	
		表示方法	212	全画面表示	※R	○	※R	○
			213	縮小表示(ズーム 0-100%)	※R	○	※R	○
			214	スポット表示	※R	○	※R	○
			215	端末機側のデスクトップへ描画	※R	○	※R	○
	設定操作	216	画面確認・リモート操作開始時、端末機側から確認	※R	○	※R	○	
		217	リモート操作時の通信帯域制限・通信データ量の抑制	※R	○	※R	○	
	キーボード/マウス転送	218	複数端末機を一斉操作	※R	○	※R	○	
		219	複数端末機のウィンドウ画面をセンタリング/左上にそろえる	※R	○	※R	○	
220		複数端末機のウィンドウ画面を代表画面にそろえる	※R	○	※R	○		
221		操作中の端末機ロック	※R	○	※R	○		
222		一斉操作/単体操作の切り替え	※R	○	※R	○		

		Ver.4.2		Ver.5				
		LT	ST	LT	ST			
メンテナンス	端末機制御	端末操作	223	資料配布(任意ファイルの配布・回収)	-	-	-	-
			224	電源管理(ログオン/ログオフ/再起動、電源ON/OFF)	-	-	-	-
			225	マクロ/実行	-	-	-	-
			226	メッセージ配信	○	○	○	○
			227	複数端末機画面を管理機で巡回表示	○	○	○	○
	その他	228	通信帯域制限	○	○	○	○	
		229	管理サーバ切り替え	-	-	-	-	
		230	サーバ間の端末機移動	-	-	-	-	
		231	SKYSEA Client Viewのリモートアップデート	○	○	○	○	
		232	起動時のパスワード認証機能	○	○	○	○	
233		管理機ごとの使用機能の利用設定	-	-	-	-		
234		データサーバの中継構成	-	-	-	-		
235		複数マスターサーバ連携による一元管理	-	-	-	-		
236		Active Directoryユーザ連携	-	-	-	-		
237		部署別インストール作成	△※4	△※4	△※4	△※4		
操作画面	端末機閲覧画面	238	端末デスクトップビュー	○	○	○	○	
		239	端末リストビュー	○	○	○	○	
		240	ユーザデスクトップビュー	○	○	○	○	
		241	ユーザリストビュー	○	○	○	○	
		242	要注意端末ビュー(要注意端末のデスクトップ画像のみ)	○	○	○	○	
	機能ガイド	243	ネットワーク機器表示	○	○	○	○	
		244	端末機閲覧画面検索機能	○	○	○	○	
		245	機能ガイド	○	○	○	○	
		246	端末選択時資産情報詳細表示	-	-	○	○	
		247	ソフトウェア一覧のマトリックス表示	-	-	○	○	
エンタープライズモード	248	端末検索	-	-	○	○		
	249	各画面設定の保存復帰	-	-	○	○		
	250	ドッキングウィンドウ	-	-	○	○		

【凡例】 ○搭載あり △一部搭載 - 搭載なし
 ※Rリモート操作オプション ※G画面操作録画オプション ※F不許可端末検知オプション
 ※S送信メールログオプション ※K高速ログ検索オプション
 (別途オプション製品の購入が必要となります)
 KEY:ライセンスキーで制限され使えない機能
 L:ライセンスキーで制限されておらず、使ってしまう機能

※ 管理機はクライアントPCで使用して下さい。
 ※1 利用状況(ログの容量)によっては、負荷が掛かる可能性があるため、利用の推奨は致しません。
 ロジテック社製LSV-5S4CSシリーズを50台以上で利用される場合は使用しないで下さい。
 ※2 ユーザ毎の個別設定は利用できません。
 ※3 ユーザ別の機能のため、使用はできません。
 ※4 インストール後に部署を移動するか、アンケートの部署設定により、部署の設定を行って下さい。
 ※5 「リモート操作オプション」画面操作録画オプション」送信メールログオプション」の三つ以外のオプションは、NAS使用時には、ご利用頂くことは出来ません。また、NASでオプションを使われる場合においても、通常版と違い制限事項が御座いますのでご注意ください。

NASへのSKYSEA Client Viewのインストールについて



注意事項

SKYSEA Client Viewを対応NAS製品にインストールする場合は、以下の事項にご留意下さい。



1.

SKYSEA Client Viewをご用意下さい。

(NAS専用版等はありませんので、通常版をそのままご利用下さい)

2.

SKYSEA Client ViewのインストールCDの内容をNASにフォルダ共有で使ってコピーして下さい。

3.

NASにリモートデスクトップ接続か、キーボード・マウス・ディスプレイを接続して、SKYSEA Client Viewのインストールマニュアルを参照の上、インストールを行って下さい。

※その他

- 1)英語OSとして認識されている為、OSが英語表記となっています。通常「規定のWebサイト」⇒NAS「Default Web Site」など
- 2)ログ解析インストール時、英語版モジュールのインストールが必要
通常「WindowsServer2003-KB926140-v5-x86-JPN.exe」⇒NAS「WindowsServer2003-KB926139-v2-x86-ENU.exe」
- 3)OSが「Windows Strage Server 2003 R2」の場合は、資産管理上は「Windows Server 2003 R2」と表示されます。
Windows Strage Server 2008も同様となります。
- 4)NASに「MSXML6.0」がインストールされている場合はアンインストールしてから、SKYSEA Client View マスターサーバをインストールしていただく必要があります。

その他、NAS使用時の留意事項

- 本資料に記載の『SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧』で「機能あり」と記載されている機能以外は、**ライセンス規約上、ご利用頂くことは出来ません。**
- 弊社サポート窓口にお問い合わせ頂いた場合に、動作対象外環境での利用や、ライセンス条項に反する使い方であることが判明した場合には、弊社はサポートサービスを終了させて頂くことがあります。
- SKYSEA Client ViewをNASにインストールする際には、**NAS使用許諾条件の記載された追加ライセンス条項を同意の上、**利用を開始して下さい。SKYSEA Client ViewをNASにインストールされる際には、別途、用意されているNAS使用許諾条件の記載された書面をSKYSEA Client Viewの使用許諾契約書と共に保管するようにして下さい。
- SKYSEA Client ViewをインストールするNASについては、**NASは出荷時初期状態**から、IPアドレス等のネットワーク機器の設定など、NASを動作させる上で必要な設定をすべて行った上で、正常にNASが動作することを確認してから、SKYSEA Client Viewをインストールして下さい。運用中のNASへのSKYSEA Client Viewのインストールは動作保証しておりません。
- **一般的なサーバコンピュータをインストールする場合と比較して、NASの場合、CPU能力の違いから、ログ閲覧等管理機ソフトウェアの動作が、遅くなります。**管理機の処理速度が重要な場合には、事前の動作検証等を行うようにして下さい。
(クライアントPCの処理速度等は変わりません)

その他、NAS使用時の留意事項

- SKYSEA Client Viewマスターサーバ／データサーバ専用にNASをご利用頂くことを弊社では強く推奨します。NASのファイルサーバとしても共用する場合には、ディスクの空き容量や処理能力にご注意下さい。なお、NASをファイルサーバーとしても共有する場合には、SKYSEA Client Viewでの最大接続台数は、NASメーカー様の推奨される接続台数に制限されますので、ご注意ください。
- 標準機能のログ解析、オプションの送信メールログ、画面操作録画については、ログ容量が多い場合には、負荷が高くなり、ソフトウェアの動作に時間が掛かる場合があります。ただし、ログの容量については、お客様のクライアントの利用状況により大きく変動致します。そのため、弊社としては、これらの機能については利用を推奨致しません。ロジテック社製LSV-5S4CSシリーズを50台以上で利用される場合は使用しないで下さい。
- 管理機はクライアントPCで使用してください。
- 弊社サポートをお問い合わせ頂く際には、必ず、NASをSKYSEA Client Viewのマスターサーバ／データサーバとして利用していることをお伝え下さい。

MEMO

商品に関するお問い合わせや最新情報は…

Webサイト

SKYSEA

検索

商品に関するお問い合わせは、Webサイト(<http://www.skyseaclientview.net/>)よりお受けしております。

スカイシーエ
グループ

06-4807-6382

受付時間 9:30~17:30(土・日・祝、ならびに当社に定める休業日を除く平日)

Sky株式会社 — <http://www.skygroup.jp/>

■ 本 社 〒532-0003

大阪市淀川区宮原3丁目4番30号 ニッセイ新大阪ビル20F
TEL.06-4807-6374 FAX.06-4807-6376

■ 東京支社 〒108-0075

東京都港区港南2丁目18番1号 JR品川イーストビル9F
TEL.03-5796-2752 FAX.03-5796-2977

■ 札幌支社 仙台支社 横浜支社 三島支社 名古屋支社 広島支社
高松支社 福岡支社 沖縄支社

●SKYSEA、SKYSEA Client ViewはSky株式会社の登録商標です。●その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。●本文中に記載されている事項の一部または全部を複写、改変、転載することは、いかなる理由、形態を問わず禁じます。●本文中に記載されている事項は予告なく変更することがあります。